

Symphony No. 9 in D minor, Op. 125 "Choral"

2025年10月5日(日) 開場13:30
開演14:00

富山県高岡文化ホール 大ホール

高岡第九

第6回 みんなで歌おう

曲目

第1部

ベートーヴェン／コリオラン序曲

第2部

ベートーヴェン／交響曲第9番二短調作品125合唱付

出演者

指揮：本多 敏良(高岡フィルハーモニー管弦楽団 音楽監督・常任指揮者)

独唱：山本有希子(ソプラノ)／伴野公三子(アルト)／古村 勇樹(テノール)／中村 大志(バリトン)

管弦楽：高岡フィルハーモニー管弦楽団

合唱：みんなで歌おう高岡第九合唱団(一般公募)

合唱指導：宮丸 勝／今井 幸代

【チケット発売日】

2025年8月5日(火)

全席自由 2,500円

主催／みんなで歌おう高岡第九実行委員会

共催／高岡市・高岡市教育委員会・(公財)高岡市民文化振興事業団
北日本新聞社・高岡ケーブルネットワーク

後援／富山県・高岡市芸術文化団体協議会

協力／たかおかホールサポーターの会「パープル」

【プレイガイド】

(公財)高岡市民文化振興事業団事業課(電話予約できます／0766-20-1560)

高岡市生涯学習センターサービスカウンター／高岡市ふくおか総合文化センターUホール

アーツナビ(富山県高岡文化ホール、富山県民会館、富山県教育文化会館、新川文化ホール)



まじめに 35TH ANNIVERSARY
文化
やっています。
TAKAOKA CULTURAL FOUNDATION

問合せ みんなで歌おう高岡第九実行委員会事務局((公財)高岡市民文化振興事業団事業課内)

〒933-0023 高岡市末広町1-7 高岡市生涯学習センター3階 TEL 0766-20-1560 FAX 0766-20-1562

E-mail: shimin@takaoka-bunka.com URL: https://www.takaoka-bunka.com

公益財団法人 高岡市民文化振興事業団

2009年の開町400年の年に市民の手による第九公演を高岡市民会館で初めて開催し、多くの市民の皆様から感動の声が寄せられました。以降、2012年に2回目、2015年の北陸新幹線開業記念の年に3回目、2018年には高岡市民会館の休館を受け、高岡市ふくおか総合文化センター・アリーナを会場に4回目を、第5回目を2022年に高岡文化ホールで開催し、約3年に一度のペースで、いずれも多くのお客様に歓喜の歌声を届けることができました。今回も市民の手でまちの魅力を磨き、一人ひとりがまちの歴史と文化に誇りをもち、未来へと市民の手で繋いでいくことにより、高岡の文化土壌のさらなる発展を推進していきます。



●本多 敏良(指揮)

国立音楽大学にてクラリネットを専攻。その後、東京芸術大学教授 故・金子登氏の内弟子となり、指揮者に転向。1970年、ウィーン国立アカデミーに留学。故・ハンス・スワロフスキー教授に師事。1974年12月に帰国、石川フィルハーモニー交響楽団初代常任指揮者に就任。1987年、石川フィル第2代音楽監督に就任。2002年に、高岡フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会で、客演指揮として初めて同フィルを指揮。この後、同フィル常任指揮者、翌年、音楽監督に就任。高岡市民会館で開催した2007年「第100回サロンコンサート」記念公演では指揮・音楽監督を、高岡開町400年記念「第九」公演、第2回みんなで歌おう高岡「第九」公演及び第3回北陸新幹線開業記念公演の指揮を担当。第4回みんなで歌おう1000人の高岡「第九」公演からは音楽監督・指揮を担当し、今回も務める。高岡フィルの育成のほか、高岡市の音楽文化向上に尽力している。



●高岡フィルハーモニー管弦楽団(管弦楽)

高岡市を中心に活動しているアマチュアオーケストラ。1990年春に発足。創設者・初代団長の溝川英司氏のもと、10人程の有志で「アンサンブル高岡」という名称でスタート。1992年9月、名称を「高岡フィルハーモニー管弦楽団」と改称。その後、指揮者に室賀元一氏を迎える。2002年、指揮者に本多敏良氏を迎える。2004年、氏を当団の初の音楽監督・常任指揮として、一時は団員が減少し、存続が危ぶまれる状態だった楽団を再構築。「サロンコンサート100回記念公演」、「高岡開町400年記念「第九」公演」「第2回みんなで歌おう高岡「第九」」「第3回北陸新幹線開業記念みんなで歌おう高岡第九」「第4回・第5回みんなで歌おう1000人の高岡第九」公演に出演、高岡市の文化の一翼に大きく貢献する。2009年11月、活動の功績を認められ、高岡市より「文化団体表彰」を受ける。

●みんなで歌おう高岡第九合唱団(一般公募)

2007年に、高岡市民会館ホールサポーター「パープル」が2000年より継続開催している「サロンコンサート」の第100回記念公演で一般公募による市民合唱団「古城の森合唱団」を初結成。以降、2009年の高岡開町400年記念事業では高岡で初となる「第九」を公演、2012年に第2回公演、2015年3月に北陸新幹線開業記念に合わせた第3回公演にて再結成を果たす。第4回公演では、「みんなで歌おう高岡第九合唱団」と名称を変更しての結成となる。第6回となる今回は、合唱団「音楽室」常任指揮者の宮丸勝氏と女声合唱団「どるちえ」常任指揮者・今井幸代氏の両氏が、初心者や合唱経験の少ない団員もいる中、熱意あふれる指導で公演を成功に導く。

*合唱指導/宮丸 勝、今井 幸代 *練習ピアノ/梅野 靖子

Soloist

山本 有希子(ソプラノ)



武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業。卒業演奏会出演。第47期二期会オペラストウディオ・マスタークラス修了。在学中、ウィーンに留学。第1回モーツァルトコンクールin芦屋・声楽部門第1位。第24回奏楽堂日本歌曲コンクール・歌唱部門第3位。第19回波の会日本歌曲コンクール・声楽部門第2位。デビューアルバム「はなやぐ朝〜いまこの歌を〜」発売。MUSICA BRILLANTE主宰。白山混声合唱団常任指揮者。金沢市民芸術村ミュージック工房・ディレクター。東京二期会会員。

伴野 公三子(アルト)



高岡市生まれ。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、および同大学別科修了。第1回国際声楽コンクール東京歌部門第二位(最高位)及び東京新聞賞受賞。第21回北陸新人登壇コンサートに出演後、オーケストラ・アンサンブル金沢と共演を重ねる。2025年ガルガンチュア音楽祭に出演。これまでに、佐々木典子、手嶋眞佐子の各氏に師事。サントリーホールオペラ・アカデミーを修了、ジュゼッペ・サルパティエーニ氏のもとで研鑽を積む。

古村 勇樹(テノール)



高岡市出身。国立音楽大学声楽科卒業。オペラは、『能登奇譚』能太(主役)ほか『魔笛』『ドン・ジョヴァニ』『コシ・ファン・トゥッテ』『東方の宝』『卒塔婆小町』『笠地蔵』『お小夜』に出演。また地元高岡でも万葉歴史館主催のコラボレーション事業Ⅲ『マンヨウノウタ』(日本初演)、第2回〜第5回高岡「第九」ソリスト、第200回記念サロンコンサート、街角オペラ、高岡市芸術祭などに出演。高岡市芸術団体協議会洋楽会員。高岡第一学園幼稚園教諭・保育士養成所 所長で教授。

中村 大志(バリトン)



富山県高岡市出身。国立音楽大学演奏学科声楽コース卒業。洗足学園音楽大学大学院修士課程声楽科修了。オペラでは「ボエーム」マルチェッロ、「ドン・ジョヴァニ」レポレッロ、「魔笛」ザラストロを務め好評を得た。昨年8月には高岡にて自身初のリサイタルを公演。大阪国際音楽コンクール入選。AMAピアノと歌と管弦のコンクール声楽部門金賞受賞。クリス音楽院キッズコーラス講師。山本一誠、古村勇樹、牧野政人、久保田真澄の各氏に師事。又株式会社アーリーウィングに所属し、声優活動も展開。アニメ、ゲーム、外国映画からナレーションまで幅広い作品に出演。



会場：富山県高岡文化ホール・大ホール

- 駐車場の台数には限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- 演出の都合等により、曲目を変更する場合がございますので、予めご了承ください。
- 未就学児のご入場はご遠慮願います。

お問合せ先

みんなで歌おう高岡第九実行委員会事務局((公財)高岡市民文化振興事業団事業課内)

〒933-0023 高岡市末広町1-7 高岡市生涯学習センター3階 TEL 0766-20-1560 FAX 0766-20-1562

E-mail: shimin@takaoka-bunka.com URL: https://www.takaoka-bunka.com